

# 熊本方言要素の抽出と分類

## — 談話資料にどのようなタグを付したか —

和田 礼子

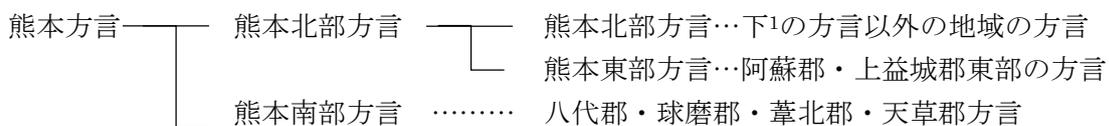
### 1.はじめに

中上級日本語学習者向け方言教材『調べてみらんね なんさん！熊本弁』を作成するにあたり、まず、熊本方言話者の自然談話と、ロールプレイ談話を収録した。次に、収録した談話資料を文字化し、方言要素にタグ付けを行った。タグ付けを行うことで、談話資料のデータベース化、教材化が可能になる。この作業では、収録データから何を熊本方言要素として抽出し、それをどのような項目に分類するかが重要なプロセスとなる。本稿は、談話資料から熊本方言を抽出し、これをどのような項目に分類したかについて報告するものである。

### 2.タグ付け項目確定のプロセス

#### 2-1 秋山(1983)による熊本方言要素

秋山（1983）は熊本方言を次のような区画に分けている



本研究では熊本市内を中心に使用されている熊本方言を教材化対象項目とするため、秋山（1983）に取り上げられている熊本方言のうち、「熊本北部方言」に該当するものを取り扱う。ただし秋山（1983）で、熊本東部方言、熊本南部方言として紹介されているものでも、近年熊本市内で頻繁に使用されているものは熊本北部方言とみなした。

秋山（1983）で取り上げられている熊本方言要素で、熊本北部方言として使用されているのは次のようなものである。

終助詞：ナー／ネー／バイ／タイ／モン／コテ／ト／ツ／カタ

接続法：ケン／チャ（言ウタッチャ聴カントサナ）／バッテン

条件接続：サガ（ソギヤングスリヨットサガ：そんなにぐずぐず不平を言うなら）

限定法：バシ：強意（アヤツァーハラカイテバシオットダロカ：あいつは、ひょっとしたら怒ってでもいるのかしらん）／サカ・シャカ：さえ／シコ：だけ  
ドガシコカネノイルモネロ（どれだけ金が要るものやら）

シャ（オカッシャスル：とてもおもしろがる）

<sup>1</sup> 秋山（1983）では「左の各方言以外の地域」となっているが、本稿では図の書式の関係上、「左」を「下」と書き換えている。

主格法：ノ：が（子ドモノ泣キヨル：子どもが泣いている）  
形容詞：カ語尾（善カ、暑カ、美シカ）  
形容動詞 カ語尾（達者カ、面倒カ／ナ、変ナカ）  
イ語尾（サミー：寒い／ヤシー：安い／ヒデー：ひどい）

秋山（1983）の分類に従い上記の方言要素で、終助詞を含む文末表現は「end」、接続法は「conj」、限定法は「only」、主格法は「case」、カ語尾は「ka」といったタグをつけることとした。

## 2-2 自然談話に見られた、熊本方言要素

秋山（1983）で取り上げられた熊本方言要素以外に、収集した自然談話からは、次のような熊本方言要素が抽出された。

文末：ケン（アソコニオッタケン：あそこにいたよ）／ダロ（田中サンダロ：田中さんでしょ）／ド（知ットルド？：知ってるでしょ？）／ダン（ラーメンハ嫌イダン：ラーメンは嫌いだ！）／モン（昨日通ッタモン：昨日、通ったもの）…

接続法：ケンガ／ケンガラ／デン（大人デン子ドモデン：大人でも子どもでも）…

助詞：サン（中学校ノ方サン行く：中学校の方に行く）／テ（～テ何？：～って何？）／バ（オ湯バ入レル：お湯を入れる）…

指示詞：アガン（あんな）／アギャン（あんな）／アン（アン人：あの人）…

定型表現：ナン（行カナン：行かなければならない）／φイク（食ベイク：食べに行く）／ゴタル（語<sup>かた</sup>ロゴタル：話したい）／タガヨカ（行ッタガヨカ：行った方がいい）／タガハヤカ（行ッタガハヤカ：行った方がはやい）…

語彙：オル（猫ノオル：猫がいる）／エライ（とても）／タイギヤ（とても）…

否定：知ラン／ワカラン／行カン／セン（しない）

否定・活用：出ランダッタ（出なかった）…

動詞・活用：…ユウタ（言った）／コユル（越える）／デクル（できる）…

形容詞・活用…カワイソカッタ（かわいそうだった）／得意クナイ（得意じゃない）…

敬語：ラス（見ラス：ご覧になる）／ナハル（食ベナハル：召し上がる）…

音変化：コッ（同ジコッタイ：同じことだよ）／アッ（アットタイ：あるんだよ）

…

アスペクト：ヨル（食ベヨル：食べている）／トル（ヒビガ入ットル：ひびが入っている）…

上記の方言要素には次のようなタグを設定した。

文末表現：end    接続法：conj    助詞：case  
指示詞：dem    定型表現：ph    語彙：voc    否定：neg

否定・活用：neg/jug      動詞・活用：ver/jug      形容詞・活用：adj/jug  
敬語：hon                  音変化：son      アスペクト：time

2-1 で秋山（1983）の主格法を「case」としていたが、自然談話では格助詞全般に熊本方言要素が現れるため、格助詞を「case」とした。

また、ケンのように、接続表現としても文末表現としても使用される語については、文末に位置していても、明らかに述部を省略した「言いさし表現」である場合は「conj」を、それがなくモダリティ的要素を含む場合は「end」をつけることにした。

さらに、トは「どこに行くト？」のように終助詞として使われていれば「end」、「着るトのなか。（着る物がない）」の場合は準体助詞として「qn」というタグをつけた。

### 2-3 熊本方言話者の内省に基づくもの

自然談話に見られる熊本方言要素を抽出する過程で、分析にあたった熊本方言話者の内省で次のような項目を熊本方言要素として取り上げた。これは、収集する自然談話が増えるに従い出現が予測される熊本方言要素にどのようなタグをつけるか、前もって確定しておくための作業である。

文末表現：ガ（田中サンハ来ラスガ：田中さんは来るに決まっている）／ツ（明日テストノアルツタイ：明日、テストがあるんだ）／ネ（ハヨ、アガランネ：早くあがりなさいよ）

定型表現：φギャイク（食べギャ行ク：食べに行く）／φナル（サムナル：寒くなる）  
チャヨカ（見ランチャヨカ：見なくてもいい）／デス（行クデス：行きます）  
テアルカ（使ウテアルカ：使うなんてだめじゃないか）／トデケン（飲ムトデケン：飲んではいけない）／ンクナル（食ベンクナル：食べなくなる）…

語彙：ソスト（そうしたら）／ダイケン（だから）／チット（少し）／マゴ（マゴ速カ：とても速い）／イケン（今日ハ体調ガ悪カケン、ゴ飯ノイケン：今日は体調が悪いから、食欲がない）…

動詞・活用：怒ラルル（怒られる）…

敬（卑）語：ラル（ヤメライタ：やめてしまった）／ナッセ（行キナッセ：行きなさい）…

アスペクト：ヨク（先ニ行キヨクネ：先に行っているよ）／トク（先ニ行ットクネ：先に行っているよ）／アッテイル（会議ガアッテイル：会議中だ）…

可能形：ユル（聞コユル：聞こえる）／ルル（行カルル：行ける）／キル（食イキラン：食べられない）…

この作業で新しく設定したタグは可能形「can」である。また、敬語「hon」には卑語にあたる表現も含めることとした。

## 2-4 他方言、若者ことばの取り扱い

収録した自然談話には、次のような関西方言や福岡方言、若者ことばと思われるものも含まれていた。

- (1) いや、分かつーし。
- (2) それはね、でも違うヤロ。
- (3) 結局元の歌詞がわからんままヤンカ。
- (4) おもしろそうヤネ。
- (5) 教案、テカ、指導案。
- (6) かつこよすぎーとかナイッショ。

(1) (2) は福岡方言、(3) (4) は大阪方言、(5) (6) はいわゆる若者ことばである。熊本方言は肥筑方言であり、西日本方言であるため、動詞の否定形の活用が「-a ん」(行かん、知らん) である点は両方言と共通している。福岡方言とはさらに共通点が多く、バイやタイ、トといった文末表現、主格を表す格助詞ノ、目的格を表すバなど枚挙にいとまがない。このような、共通した要素、つまり、熊本方言に存在する要素に関しては熊本方言として抽出の対象としている。しかし、(1) (2) や (3) (4) のような、熊本方言にはない要素に関しては、談話の中に出現していても、方言として抽出していない。

同様に若者ことばについても、タグ付けの対象としていない。

## 3. まとめ

中上級日本語学習者向け方言教材『調べてみらんね なんさん！熊本弁』は Web 上のページに検索対象の方言要素を書き込むと、談話例が表示される。例えば、文末表現タイで検索するとタイを使用した実際の談話例を抽出する事ができる。

本稿で報告した、どのような表現をどのような項目として取り扱っているかについては、教材中の「例文」にまとめて公開している。「例文」には、方言要素（調べたいことば）、タグ（種類）、文例、共通語訳をつけた。

このデータベース型方言教材は今後談話資料を増やすことで、検索項目や談話例を増やしていくことが可能である。また本研究の教材作成の手法は他方言においても応用できるものであり、タグ付けの方針などを共有することで問題点や不備を見出し、解消することができる。と考える。

最後にタグ付けの例を《資料》として掲載する。

## 参考文献

秋山正次(1983)「熊本県の方言」『講座方言学 9 -九州地方の方言-』, 国書刊行会, pp207-223

《資料 1》「タグ付けの例」

タグ付けした文字化資料のサンプル

1)

A : 男性 (38 歳)

B : 男性 (34 歳)

C : 男性 (22 歳)

A、B、C は同僚である。地デジ対応テレビをアパートの部屋に設置しようと考えている C に対して、A と B がアドバイスをしている。

一番年長の A が最も多く方言を使用している。B は文末詞「タイ」と「ト」程度しか使用していない。最年少の C は方言を全く使用せず丁寧体で話している。

A : じゃ掃除してから、<hg target='そっちは早くしとくたい' bs='そっちは早くしとくたい' kihon='バ' type='case' kihon0-1='トク' type0-1='time' kihon0-2='タイ' type0-2='end'> </hg>

C : うん。今週中に。

A : <hg target='じゃ (電器店名 2) とか電器店のほうからは工事頼まんがいいとたい' bs='頼まんがいいとたい' kihon='ンガイイ' type='ph' kihon0-1='ト' type0-1='end' kihon0-2='タイ' type0-2='end'> </hg>

C : うん。多分大丈夫だと思います。

B : <hg target='一応工事の線だけ引っ張ってもらえばいいたい' bs='引っ張ってもらえばいいたい' kihon='タイ' type='end'> </hg>

C : うん、そうです。線だけ引っ張ってもらえば。

A : <hg target='引っ張ってもらうだけだけん' bs='引っ張ってもらうだけだけん' kihon='ケン' type='conj'> </hg>

B : 土曜日買うんで引っ張ってといてくださいと言って。

A : まず掃除して大家さんに<hg target='電話しとったがいいよ' bs='電話しとったがいいよ' kihon='トク' type='time' kihon0-1='タガ' type0-1='ph'> </hg>

C : じゃ掃除しないといけないんですか。

A : うん、<hg target='掃除はせんといかん' bs='せんといかん' kihon='ントイカン' type='ph'> </hg>

C : 一番きついですね。

A : 身だしなみですね。

C : ほこりだらけです、ほこりだらけのちらかり放題ですから。

A : <hg target='もう台とかは買わんちゃいいと' bs='買わんちゃいいと' kihon='ト' type='end'> </hg>

C : なんかステンレスの台があります。

B : 普通の今テレビは。

C : 今 14 かったんですよ。

B : <hg target='32 とかも乗ると' bs='32 とかも乗ると' kihon='ト' type='end'> </hg>

C: 多分。普通のステンレスの台です。下にプレステ3がのっているからもしかしたら重さでぐちゃってならないか。けどブラウン管と同じぐらいだと思いますけどね。薄いやつでそんな重くないと思うんですけど。

B: 地デジ軽いよ。ただ場所取るもんね。

2)

A: 男性 (21 歳)

B: 男性 (21 歳)

A と B は大学生。B が新しいサークルを作り、毎週木曜日に活動する予定であると話している。A は活動日が火曜日に変更になれば是非参加したいと言うが、B はとりあえず、新しいサークルは 10 月 6 日の木曜日からスタートすると伝えている。

親しい友人同士であるため、方言が多用されている。B が A に対して新しいサークルについての情報を提供する際、理由を表す「ケン」や説明を表す「ツタイ」を多く使用している。

A: おー、どこ。

B: <hg target='1232 教室ば、あの、木曜日の、あの一、6時から9時まで借りて' bs='1232 教室ば' kihon='バ' type='case'> </hg>、で、そこで、ほら、あそこ、ほら、<hg target='1236 教室この間使ったたい' bs='1236 教室この間使ったたい' kihon='タイ' type='end'> </hg>

A: うんうん。

B: あそこをさ、<hg target='あれがあるたい。スクリーンとプロジェクター' bs='あれがあるたい' kihon='タイ' type='end'> </hg>

A: はいはい。

B: <hg target='だけんあれと同じような教室てたい' bs='だけん' kihon='ダケン' type='voc' bs1='教室てたい' kihon1='テ' type1='case' kihon1-1='タイ' type1-1='end'> </hg> <hg target='だけんそこば借りて、一緒に映画ば見たり、Kポップの動画見たり、音楽聞いたりするのをしようかて毎週いいよっつたい' bs='だけんそこば借りて' kihon='ダケン' type='voc' kihon0-1='バ' type0-1='case' bs1='映画ば見たり' kihon1='バ' type1='case' bs2='しようかて' kihon2='テ' type2='case' bs3='いいよっつたい' kihon3='ヨル' type3='time' kihon3-1='ツ' type3-1='end' kihon3-2='ツ' type3-2='son' kihon3-3='タイ' type3-3='end'> </hg>

A: それめっちゃいい。

B: <hg target='ええど' bs='ええど' kihon='ド' type='end'> </hg>

A: でも、木曜なんでしょ。

B: 毎週木曜。

A: 水曜日、変えてくれん、それ。<hg target='絶対バイトだもん' bs='絶対バイトだもん' kihon='モン' type='end'> </hg>

B: まじで。

A: だって俺、火曜が無理でしょ。あの、日本語のなんか

B : あの、<hg target='やるならね、火、木の6時からつたい' bs='やるならね' kihon='ナラ' type='cond' bs1='6時からつたい' kihon1='ツ' type1='end' kihon1-1='タイ' type1-1='end'> </hg>

A : <hg target='火曜なら' bs='火曜なら' kihon='ナラ' type='cond'> </hg>、全然大丈夫。

B : <hg target='だけんね、一応、ちょっと、それば聞いてみて、もしあんまりにも参加する人がおらんなら火曜日に変えようかて話になつとるけん' bs='だけんね' kihon='ダケン' type='voc' bs1='それば聞いてみて' kihon1='バ' type1='case' bs2='おらんなら' kihon2='オル' type2='voc' kihon2-1='ン' type2-1='neg' kihon2-2='ナラ' type2-2='cond' bs3='火曜日に変えようかて' kihon3='テ' type3='case' bs4='話になつとるけん' kihon4='トル' type4='time' kihon4-1='ケン' type4-1='conj'> </hg>、一応自分で先生にも言ってみて。<hg target='俺言っただってん聞いてくれんだったけん' bs='言っただってん' kihon='バッテン' type='conj' bs1='聞いてくれんだったけん' kihon1='ン' type1='neg' kihon1-1='ケン' type1-1='end'> </hg>

A : それ行きたいな。

B : <hg target='結構よかろう' bs='結構よかろう' kihon='ロ' type='end'> </hg> それば10月の、みっか、むいか、むいか、むいかむいか、10月むいかからスタート。で、まー<hg target='木曜日たい' bs='木曜日たい' kihon='タイ' type='end'> </hg>

3)

A : 女性 (56 歳)

B : 女性 (28 歳)

A と B は母娘である。娘がもし自分が料理教室に行つて、魚をさばくことになったら、魚に触ることさえできないからどうしようと不安を口にするので、母親が料理教室で魚をさばくことはないと言っている。その後、母親が「切り身を買ってくる」と言うべきところを「魚になつとる (魚になっている) のを買ってくる」と言い間違えたことから、魚になる前はきつねやたぬきだったのかもしれないと、二人で冗談を言い合っている。

母娘による日常会話であるため、方言が多用され、互いに遠慮することなく、交互にリズムよく会話が発展している。

B : (私が料理教室に行つたら) 嫌われると思う。

A : 何で。

B : <hg target='あまりにも下手くそだけん' bs='下手くそだけん' kihon='ケン' type='conj'> </hg><hg target='でも魚とか触りきらんけん、どうしよう' bs='魚とか触りきらんけん、どうしよう' kihon='キル' type='can' kihon0-1='ン' type0-1='neg' kihon0-2='ケン' type0-2='conj'> </hg>魚さばきますとか言われたら、どうしよう。

A : 包丁の持ち方わかりませんか。

B : おえーとか言いながら。<hg target='魚はさわれんし' bs='魚はさわれんし' kihon='ン' type='neg'> </hg>

A : あんまり魚さばくなんかないよ。料理教室で。

<hg target='もう魚になつとるのは買ってくるけん、切り身ば' bs='魚になつとるのば買ってくるけん、切り身ば' kihon='トル' type='time' kihon0-1='バ' type0-1='case'>

kihon0-2='ケン' type0-2='conj' kihon0-3='バ' type0-3='case'> </hg>

B : <hg target='魚になってという意味がわからん' bs='意味がわからん' kihon='ン' type='neg'> </hg>、<hg target='最初から魚は魚だけん' bs='魚は魚だけん' kihon='ケン' type='conj'> </hg>

A : <hg target='魚になつとるのではなかない' bs='魚になつとるのではなかない' kihon='ナカ' type='time' kihon0-1='タイ' type0-1='end'> </hg>

B : <hg target='きつねが魚にでもばけると' bs='きつねが魚にでもばけると' kihon='ト' type='end'> </hg>

A : <hg target='たぬきが魚になつとるかもしれん' bs='たぬきが魚になつとるかもしれん' kihon='トル' type='time' kihon0-1='ン' type0-1='neg'> </hg>  
<hg target='だけん、切り身になっているのよ' bs='だけん、切り身になっているのよ' kihon='ダケン' type='voc'> </hg>、<hg target='たいがい料理に使うときは' bs='たいがい料理に使うときは' kihon='タイガイ' type='voc'> </hg>